

請求の範囲

- [請求項1] (A) エポキシ樹脂、
(B) 硬化剤もしくは硬化促進剤、
(C) シリカ微粒子、および
(D) コアシェルゴム粒子を含有し、
前記 (A) エポキシ樹脂 100 質量部に対し、前記 (C) シリカ微粒子を 1～5 質量部および前記 (D) コアシェルゴム粒子を 2～10 質量部含み、
前記 (C) シリカ微粒子と前記 (D) コアシェルゴム粒子の質量比が (C) / (D) として $1/1 \sim 1/5$ である、
ことを特徴とするプリプレグ用エポキシ樹脂組成物。
- [請求項2] 平行板にて温度 70℃、周波数 1 Hz で粘弾性測定した際、歪 1 % の $\tan \delta$ が 1 未満であり、かつ歪 100 % の $\tan \delta$ が 1 より大きいであることを特徴とする請求項 1 に記載のプリプレグ用エポキシ樹脂組成物。
- [請求項3] 前記 (A) エポキシ樹脂が、窒素原子を含まないことを特徴とする請求項 1 に記載のプリプレグ用エポキシ樹脂組成物。
- [請求項4] 前記 (C) シリカ微粒子の平均粒子径が、5 nm～100 nm であることを特徴とする請求項 1 に記載のプリプレグ用エポキシ樹脂組成物。
- [請求項5] 前記 (D) コアシェルゴム粒子の平均粒子径が、10 nm～10 μ m であることを特徴とする請求項 1 に記載のプリプレグ用エポキシ樹脂組成物。
- [請求項6] 前記 (A) エポキシ樹脂 100 質量部に対し、さらに熱可塑性樹脂を 5～50 質量部配合することを特徴とする請求項 1 に記載のプリプレグ用エポキシ樹脂組成物。
- [請求項7] 前記熱可塑性樹脂が、フェノキシ樹脂であることを特徴とする請求項 6 に記載のプリプレグ用エポキシ樹脂組成物。

[請求項8] 請求項 1 に記載のプリプレグ用エポキシ樹脂組成物と強化繊維とからなるプリプレグ。